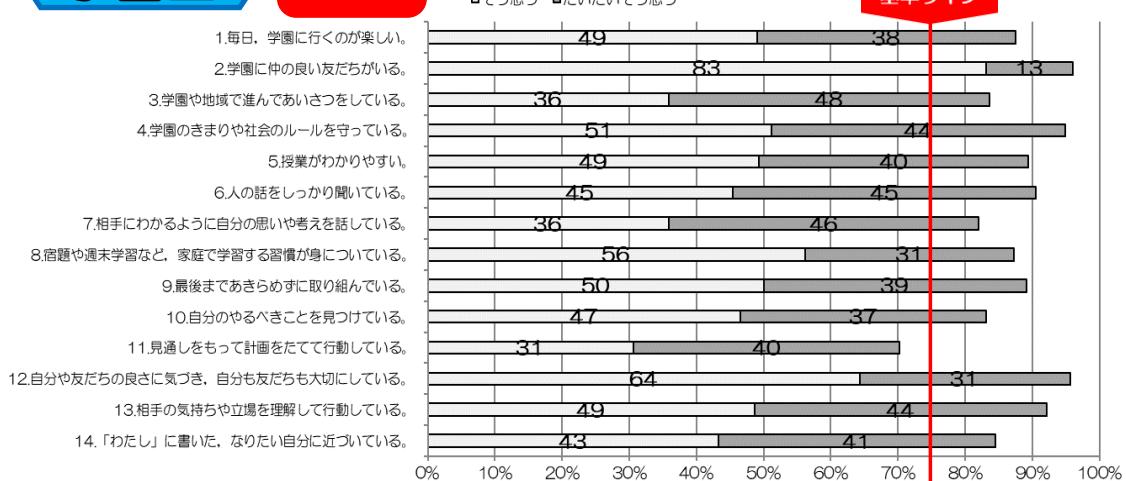


後期学園評価アンケート結果

令和5年
1月実施

学園生

適合度



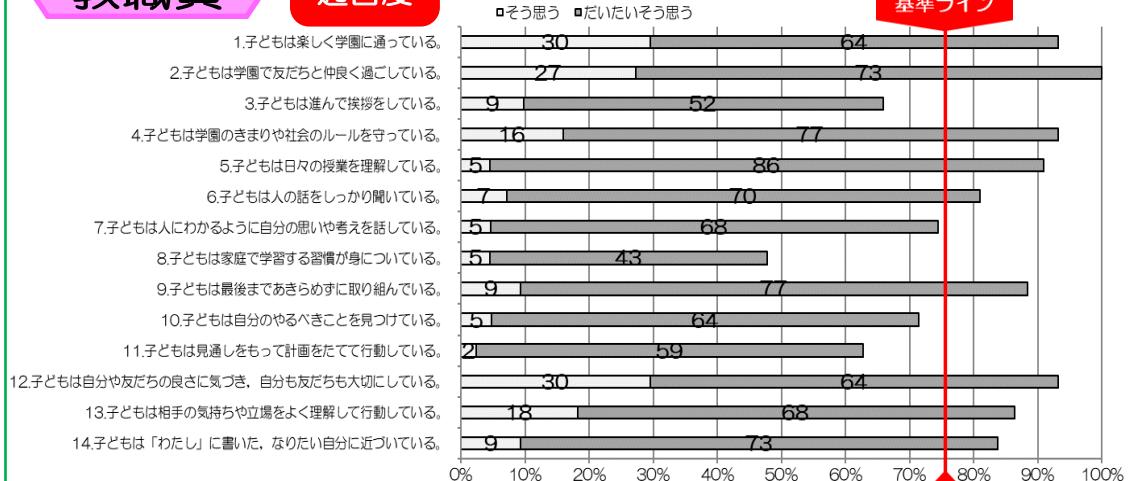
保護者

適合度



教職員

適合度



《結果の

見方について》

- ・学園生は一人一台配付されているGIGA端末を活用し、アンケートフォームにアクセスして回答しました。保護者の皆様にはお持ちの端末で学園生同様、回答していただきました。
- ・肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、7.5%を判断の基準としています。

《結果をもとにした 考察》

- ・<設問1・2>学園生・保護者・教職員ともに高い数値を示していることから、学校が、友だちをはじめとする様々な人とつながり、学園生の自立に向けて、基礎となる力を培う場となっていることが窺えます。
- ・<設問3・12>それぞれ高い数値を示しており、学園だけではなく家庭・地域の大きな支えによって、学園生に豊かな心を育むことができているのではないかと考えます。
- ・<設問11>基準ラインに到達することができず、前期・後期ともに7.0%台にとどまっています。学年・ステージが上がるにつれて、数値が下がっていく傾向が見られます。一日の予定や課題については、明確にして行動することができるようになってきていますが、一週間の長期的な計画や課題を明確にして行動する力はまだまだ不十分です。来年度は、その力をさらに育成できるように、凌風コンパスの内容を改良しています。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。お書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。なかでも、「ホームページの学園生の様子についてが、他の同じ市立学校に比べて回数も写真も少ないと思います。行事だけでなく、普段の授業もたくさん様子を掲載して欲しいです。」といったホームページにかかるご意見を複数いただきました。保護者・地域の皆様にもご支援いただけるよう積極的に学園生の様子を発信していきたいと考えています。今後も引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。